
















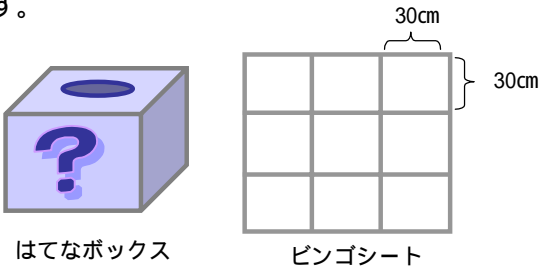




プログラム名	オータムビンゴ(四季を通してできるビンゴゲーム)						
対象年齢	年中 (4~5歳)						
ねらい	メッセージ	<ul style="list-style-type: none"> ・自然界は多様なもので成り立っていることに気づこう ・さまざまな自然物に親しみ、自然を大切にする気持ちを持とう 					
	発見・体感できること	<ul style="list-style-type: none"> ・季節に応じた自然物の感触(柔らかさ、硬さ、形、色、温度、においなど) ・発見したものを共有し、比べたり選んだりする楽しさ 					
参加者のめやす	幼児 6人×6グループ		/		支援者 2人		
実施時間	30分						
フィールド							
	森・社寺林・公園	山・里山	川	湖・池	田畑・野原	園庭・公園	
実施可能時期							
自然を感じるためのヒント							
時間	活動	配慮・アドバイス アレンジ					
2分	グループに分かれる						
5分	各自散策して5種類程度の自然物(落ちているもの)を見つける	<p>できるだけ同種類のものが重ならないよう、支援者が声かけをしましょう。グループにこだわらず、一人ずつで探した方が違う種類のものが集まりやすいでしょう。</p> <p>自然物をむやみにもぎとらないようにしましょう。</p>					
5分	グループ内で集めたものを持ち寄り、その中から9種類(ビンゴシートのマス目の数に合わせて)選び出す	<p>グループごとに集めた自然物の種類が、9種類以上になってしまった場合は、グループのメンバーで9種類に選定します。また、9種類に満たない場合も、手分けして集め、9種類になるようにします。</p>					
		<p>室内でシートを敷いて実施することもできる</p>  <p>室内で実施する場合は、あらかじめグループに行き渡る量の多種類の自然物を集めておきます。</p>					

時間	活動	配慮・アドバイス アレンジ
3分	選んだものを適当に「ビンゴシート」の上に並べる	<p>どのグループも9マスに自然物が置かれているか確認します。</p>  <p>はてなボックス ビンゴシート</p> <p>はてなボックスの中身は、子どもたちが拾い集めそうなものを予測して、できるだけ多種類のものを用意しておきます。</p>
12分	支援者が、「はてなボックス」から自然物を取り出し、それと同種類のものがあればビンゴカードに丸印を置く	
3分	<p>全部のグループがビンゴになるまでゲームを続ける</p> <p>集めたものを元あった場所に返す</p>	
<p>【異年齢への対応】</p> <p>年少：「形合わせ」 支援者が9種類の自然物を2セット集めます。 1セットはシートに置き、もう1セットはボックスに入れます。 支援者がボックスから取り出したものと同じものを、シート上のものの中から探します。</p> <p>年長：「親子あてビンゴ」 はてなボックスから取り出した自然物と親子関係のもの（松とまつぼっくり、同じ木の枝と葉っぱなど）に印をつけていき、植物のライフサイクルを考えられるようにします。</p>		
<p>【園や家庭へ帰ってから】</p> <p>拾ったものの中から気に入った一つを絵に描いて、気に入った理由を発表し合ひましょう。</p> <p>気に入ったものが、時間の経過とともにどのように変化していくか話し合ってみましょう。 （どんぐりはどうなるの？、葉っぱはどうなるの？）</p> <p>持ち帰れないものは、何度も訪れて観察することで、大切にしたい気持ちのめばえにつながります。</p>		
準備物・教材等	<ul style="list-style-type: none"> ・ビンゴシート(3×3マス) ・丸印(ビンゴシートに印代わりに置くためのもの。画用紙等で作成する) ・はてなボックス(中に10～20種類程度の自然物を入れておく) 	

